

組立・施工説明書

アーバンルーフ レギュラータイプ

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「アーバンルーフ レギュラータイプ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本書内の表記

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。
内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表 記	意 味
 警 告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注 意	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お 願 い	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

その他の表記

表 記	意 味
	商品や作業に変更があったことを示しています。 必ず変更点を確認のうえ、作業を行ってください。
	作業上の注意していただきたい内容を示しています。
	確認していただきたい内容を示しています。
	商品の組み立て・施工を行う際の作業のポイントを示しています。
	電気工事士の資格を有する方が行う作業を示しています。
	電動ドライバーを使用してはいけないことを示しています。
	必ずシーリングを行っていただきたい箇所を示しています。

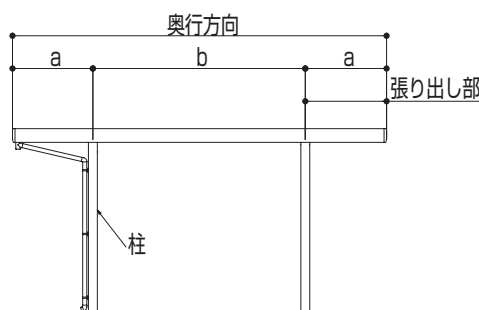
もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.4
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.8
施工の流れ	P.8
基礎工事の準備	P.9
柱の墨出し	P.9
基礎の掘削	P.9
柱の施工	P.11
柱の建込み・仮固定	P.11
本体フレームの施工	P.12
柱・梁の取り付け	P.12
前枠・後枠・母屋の加工	P.13
後枠の取り付け	P.14
前枠の取り付け	P.16
寸法確認・調整	P.17
母屋の取り付け	P.18
側枠・垂木の取り付け	P.19
柱・梁取付ボルトの本締め	P.20
基礎工事	P.21
基礎の固定	P.21
屋根部の施工	P.22
屋根ふき材の取り付け	P.22
屋根ふき材押えの取り付け	P.23
屋根ふき材の取り付けと屋根ふき材押えの取り付けの繰り返し	P.23
シーリング	P.23
雨樋の施工	P.24
雨樋の取り付け	P.24
奥行連棟の施工	P.25
前枠、後枠、母屋の加工	P.25
前枠、後枠、母屋の連結	P.26
連棟垂木の取り付け	P.27
シーリング	P.27
合掌の施工	P.28
梁連結材の取り付け	P.28
合掌材の取り付け	P.28
奥行連棟の連結部のシーリング	P.29
Y 合掌の施工	P.30
柱連結材の取り付け	P.30
合掌材の取り付け	P.31
奥行連棟の連結部のシーリング	P.32
寸法図	P.33
寸法図	P.33

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 注意

- 組み立ては、所定のねじを使用し、最後まで締め付けてください。
締め付け不良は、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本商品は、積雪～20cm地域用 {積雪荷重600N/m² (61.2kgf/m²)} です。
- 本説明書に記載以外の組み立て、加工など、改造を行わないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本商品は後枠側を建物に向けて施工してください。
屋根が強風であられ商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 切り詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。
奥行方向張り出し部のみ切り詰めると、屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪や暴風時に商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- 塀など隣接して設置する場合は、間隔を十分あけてください。
風のあおりにより商品が接触し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けしないでください。
商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。
ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。
(別途手配品)
ポリカーボネート板の接着不良やひび割れ、漏水につながるおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。
皮膚に直接触れることにより、かぶれが起こるおそれがあります。
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。

お願い

- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 屋根の上に乗らないでください。
局部荷重により破損や漏水の原因になります。
- 屋根の間口方向に水勾配をつけてください。(1000mmに対し2～4mm)逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

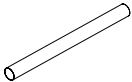
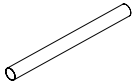
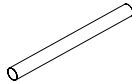


- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。
また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。
- 柱や梁の施工に関しては、必ず小型移動式クレーンやチェンブロックなど適切な揚重機械を用いて施工してください。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。
キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1～2%水溶液)を使用してください。
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。

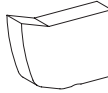
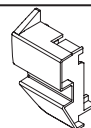
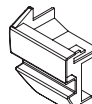
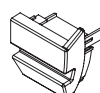
作業前の確認

同梱一覧

■柱ユニット

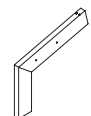
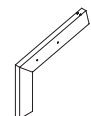
姿 図				
品 名	たて樋	たて樋	たて樋	呼び樋
品 番	K-34805	K-34805	K-34805	K-34805
JCS-(DS)-FA20#	1	—	—	1
JCS-(DS)-FA24#	—	1	—	1
JCS-(DS)-FA20A-1T	1	—	—	1
JCS-(DS)-FA24A-1T	—	1	—	1
JCS-(DS)-FA28#-1T	—	—	1	1
備 考	L=1950mm	L=2450mm	L=2750mm	L=1300mm

■側枠ユニット

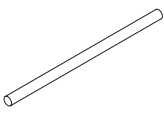
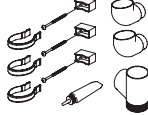
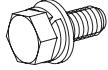
姿 図					
品 名	パッキン	前枠キャップ	前枠キャップ	後枠キャップ	後枠キャップ
品 番	3K-21853	2K-38155	2K-38156	2K-38157	2K-38158
JCS-(DS)-FC##-##	2	1	1	1	1

姿 図		
品 名	ドレイン	穴隠し
品 番	2K-31200	K-36937
JCS-(DS)-FC##-##	1	1

■ジョイント材ユニット

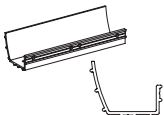
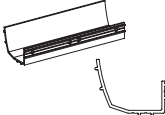
姿 図		
品 名	ジョイント材	ジョイント材
品 番	5K-16554	5K-16555
DCS-(DS)-GA1	1	—
DCS-(DS)-GA2	2	—
DCS-(DS)-GC2	—	2

■部品ユニット

姿 図					 ゆるみ止めコート付
品 名 (単位：mm)	柱アンカー	柱カバー	雨樋セット	緩衝材	座金組込六角ボルト (M8×25)
品 番	K-11711	5K-17922	EA-E1	2K-49907	6K-10581
JCS-(DS)-FG51	2	2	1	42	16
JCS-(DS)-FG5130	2	2	1	56	16
JCS-(DS)-FG57	2	2	1	48	16
JCS-(DS)-FG5730	2	2	1	64	16
備 考	—	—	—	—	柱・梁取り付け用

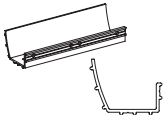
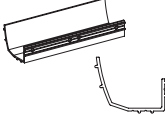
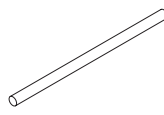
姿 図			—
品 名 (単位：mm)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	穴塞ぎシール (φ14)	組立・施工説明書
品 番	ET-5010	K-40433	—
JCS-(DS)-FG51	174	20	1
JCS-(DS)-FG5130	210	24	1
JCS-(DS)-FG57	192	20	1
JCS-(DS)-FG5730	232	24	1
備 考	—	柱移動用	—

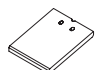
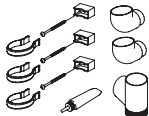
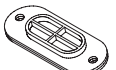
■連棟部品ユニット

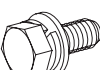
姿 図					
品 名 (単位：mm)	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	ドレイン
品 番	3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	2K-31200
HCS-(DS)-RGJ	1	1	1	3	1
HCS-(DS)-RGJ30	1	1	1	4	1

姿 図		
品 名 (単位：mm)	穴隠し	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	K-36937	ET-5010
HCS-(DS)-RGJ	1	16
HCS-(DS)-RGJ30	1	15

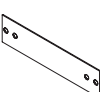
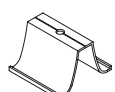
■前後枠・母屋ユニット（延長セット用）

姿 図					
品 名 (単位：mm)	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	柱アンカー
品 番	3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	K-11711
JCS-(DS)-FD14	1	1	1	3	1
JCS-(DS)-FD1430	1	1	1	4	1

姿 図					
品 名 (単位：mm)	柱カバー	雨樋セット	緩衝材	ドレイン	穴隠し
品 番	5K-17922	EA-E1	2K-49907	2K-31200	K-36937
JCS-(DS)-FD14	1	1	14	1	1
JCS-(DS)-FD1430	1	1	16	1	1

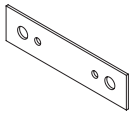
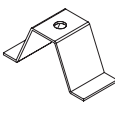
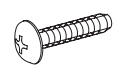
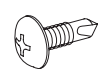
姿 図			
品 名 (単位：mm)	座金組込六角ボルト (M8×25)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	穴塞ぎシール (φ14)
品 番	6K-10581	ET-5010	K-40433
JCS-(DS)-FD14	8	83	10
JCS-(DS)-FD1430	8	98	12

■合掌部品ユニット

姿 図					
品 名 (単位：mm)	梁連結材	合掌材 ブラケット	合掌材キャップ	六角ボルト (M8×75)	六角袋ナット (M8)
品 番	3K-13929	3K-19541	2K-38161	SBH-M08075	FN-M08
HCS-(DS)-RGM1	2	2	—	4	4
HCS-(DS)-RGM2	4	4	2	8	8
備 考	—	—	—	梁連結材取り付け用	梁連結材取り付け用

姿 図			
品 名 (単位：mm)	六角ナット (M8)	ワッシャー (M8用)	トラスタッピンねじ (φ5×25)
品 番	N-M08	W-08	ET-5025
HCS-(DS)-RGM1	4	8	2
HCS-(DS)-RGM2	8	16	6
備 考	梁連結材取り付け用	梁連結材取り付け用	—

■Y合掌部品ユニット

姿 図					
品 名 (単位 : mm)	柱連結材	Y合掌材 ブラケット	Y合掌材キャップ	トラスタッピンねじ (φ5×25)	トラスドリルねじ (φ4×13)
品 番	3K-19542	5K-13449	5K-17924	ET-5025	2K-13422
JCS-(DS)-FGY1	3	2	—	2	2
JCS-(DS)-FGY2	6	4	2	6	4
備 考	—	—	—	—	柱連結材取り付け用

■屋根ふき材ユニット

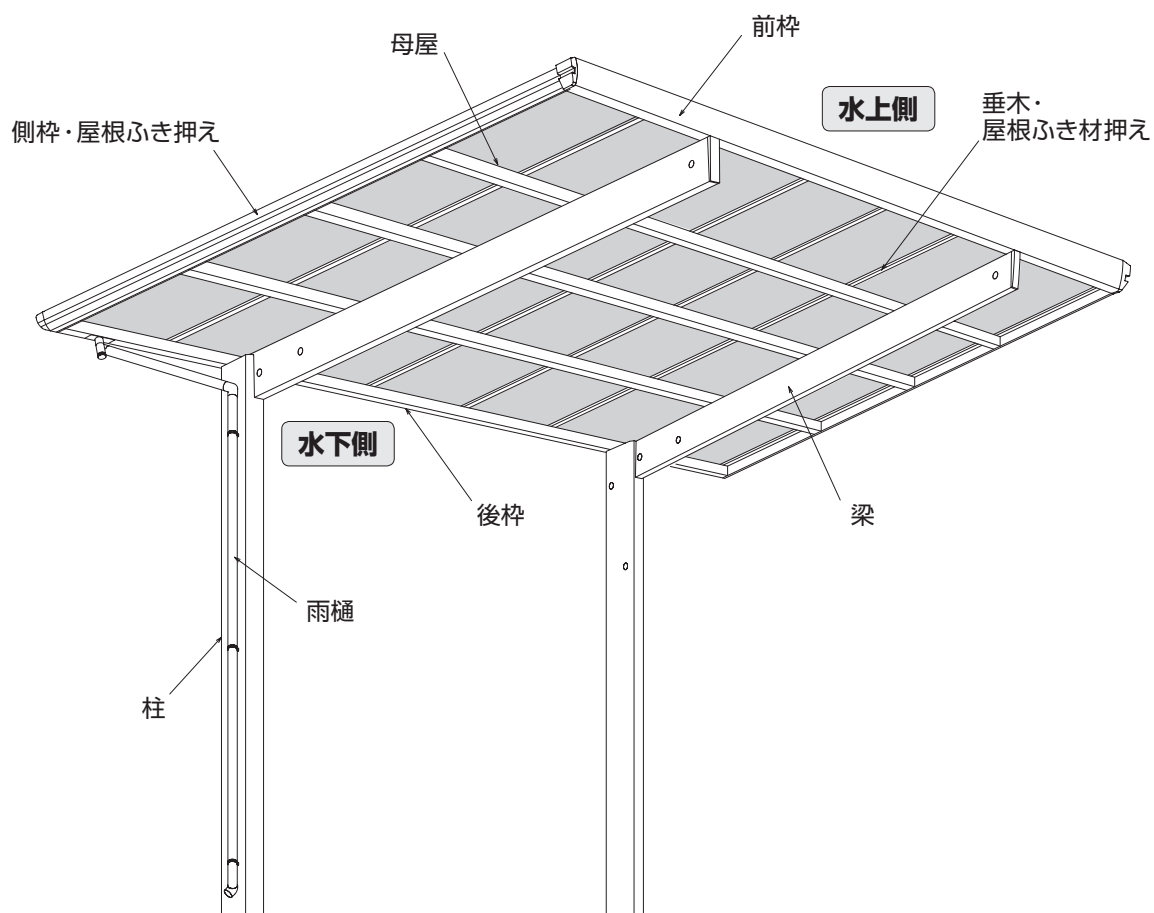
ユニット記号	サイズ		数量
	長さ	幅	
CCS-(DS)-RF24-2*#	2387	706	2
CCS-(DS)-RF24-3*#			3
CCS-(DS)-RF24-4*#			4
CCS-(DS)-RF27-2*#	2691	706	2
CCS-(DS)-RF27-3*#			3
CCS-(DS)-RF27-4*#			4
CCS-(DS)-RF30-2*#	2995	706	2
CCS-(DS)-RF30-3*#			3
CCS-(DS)-RF30-4*#			4

*#は屋根ふき材の種類を表します。

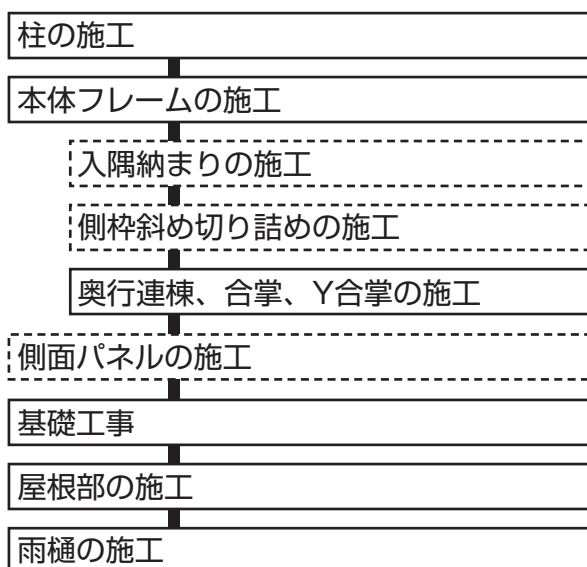
屋根ふき材の種類により、屋根ふき材の末尾の記号が異なります。

屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	ブルースモーク	2A
	ブラウンスモーク	2C
	クリアマット2	2F
熱線遮断ポリカ	熱線ブルースモークマット	3B
	熱線クリアマット2	3J

全体構成図



施工の流れ



は、各同梱の説明書を参照してください。

基礎工事の準備

⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。
地盤のゆるいところでは、さらに基礎を大きくしてください。
地盤の支持力が得られず、商品が沈下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。
地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

柱の墨出し

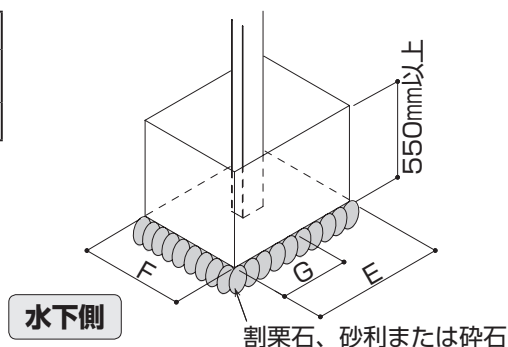
1. 寸法図を参考に、柱の墨出しを行ってください。「寸法図（→P.33参照）」

基礎の掘削

独立基礎の場合

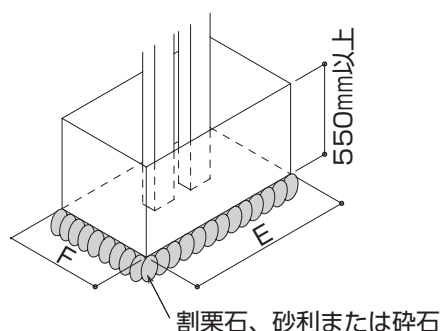
1. 寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。「寸法図（→P.33参照）」
2. 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。

カーポートサイズ	E	F	G
5024・5027・5724 延長セット全サイズ	820	820	300
5030・5727・5730	970	970	300



Y 合掌

カーポートサイズ	E	F
502424・502427・502727・572424	1300	650
502430・502730・503030・572427 572727・572430・572730・573030	1300	800



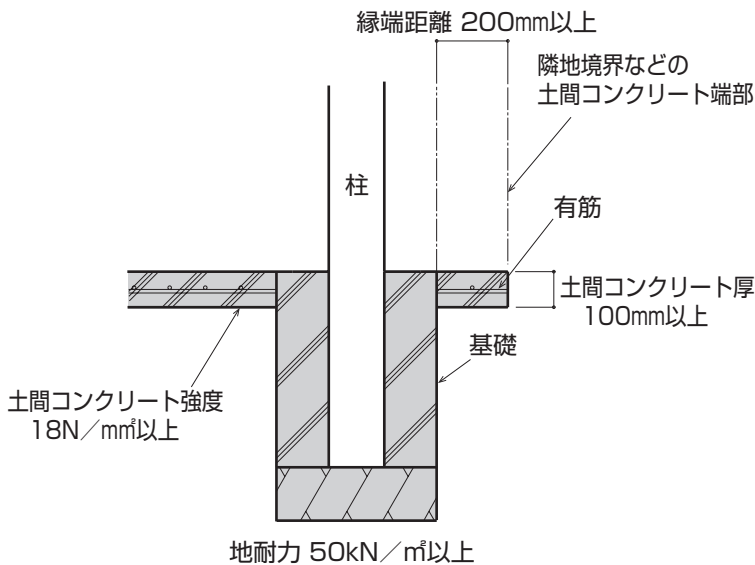
(単位：mm)

土間コンクリート考慮基礎の場合



・基礎条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

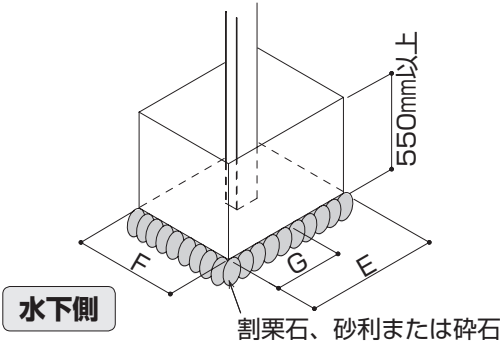
1.土間コンクリートの各条件を確認してください。



2.寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。「寸法図（→P.33参照）」

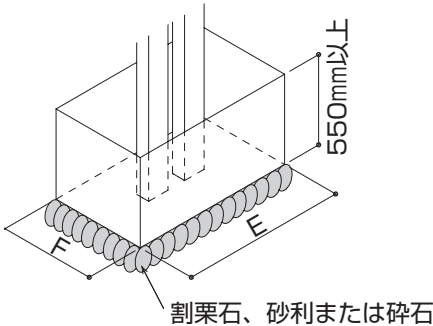
3.基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。

カーポートサイズ	E	F	G
5024・5027・5724 延長セット全サイズ	470	470	235
5030・5727・5730	570	570	285



Y 合掌

カーポートサイズ	E	F
全サイズ	700	700



(単位：mm)

柱の施工



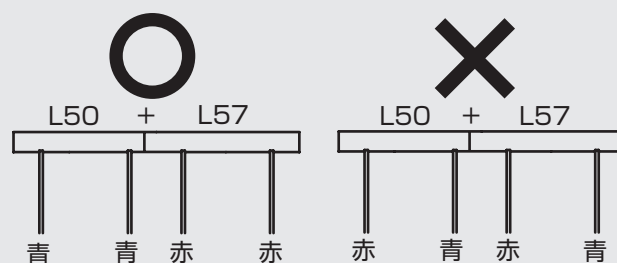
- サイズ違いの合掌、奥行連棟および延長セットを施工する場合、柱・梁・ジョイント材に貼り付けてある色付きラベルを確認して施工してください。
カーポートサイズにより、柱・梁・ジョイント材の強度が違います。
間違った組み合わせで施工すると、破損の原因となります。
施工後、ラベルをはがしてください。

■サイズ別ラベル色

呼称	D24	D27	D30
L14	青	青	青
L50	青	青	赤
L57	青	赤	赤

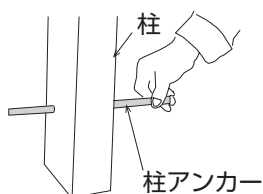
強度：青<赤

例:奥行連棟D27 L50+L27の場合

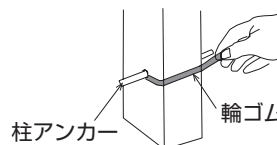


柱の建込み・仮固定

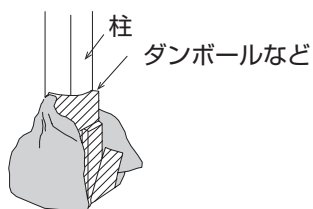
1. 柱アンカーを柱に取り付けてください。



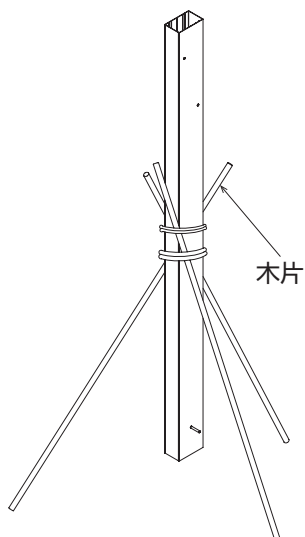
- 柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーに引っかける



2. キズ防止のため、柱をダンボールなどで養生してください。



3. 土のう袋、木片などを利用して柱を仮固定してください。



本体フレームの施工



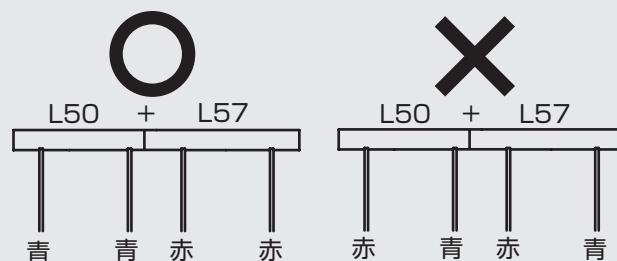
- サイズ違いの合掌、奥行連棟および延長セットを施工する場合、柱・梁・ジョイント材に貼り付けてある色付きラベルを確認して施工してください。
カーポートサイズにより、柱・梁・ジョイント材の強度が違います。
間違った組み合わせで施工すると、破損の原因となります。
施工後、ラベルをはがしてください。

■サイズ別ラベル色

呼称	D24	D27	D30
L14	青	青	青
L50	青	青	赤
L57	青	赤	赤

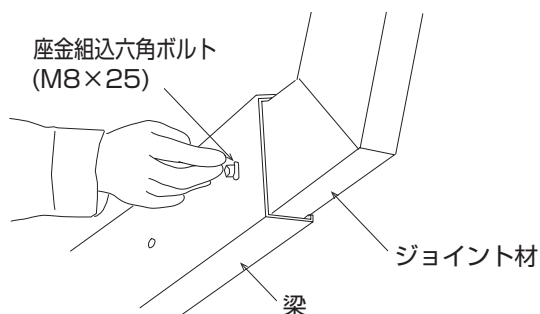
強度：青<赤

例:奥行連棟D27 L50+L27の場合

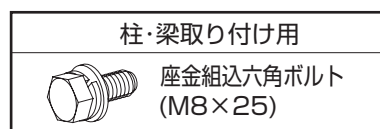
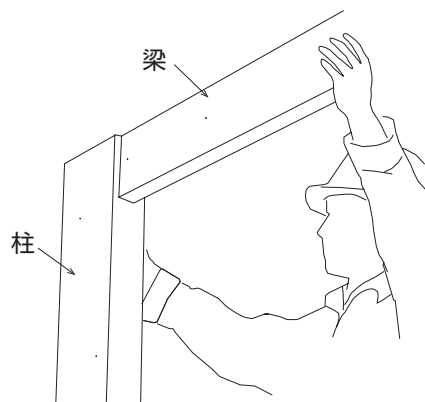


柱・梁の取り付け

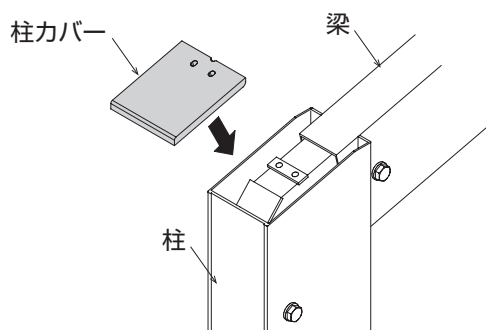
1. ジョイント材を梁に挿入し、ボルトで仮締めしてください。



2. 梁を柱にボルトで仮締めしてください。



3. 柱カバーを柱に取り付けてください。



(単位：mm)

前枠・後枠・母屋の加工

柱を移動する場合

1. 前枠・後枠・母屋を梁位置にあわせて穴をあけてください。
2. 既存の加工穴には穴塞ぎシールを貼ってください。

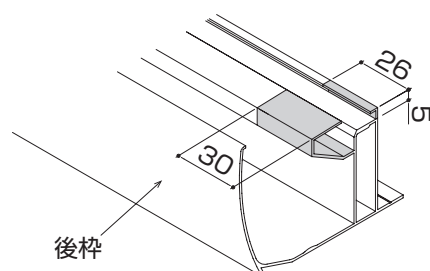
奥行切り詰めする場合

お願い

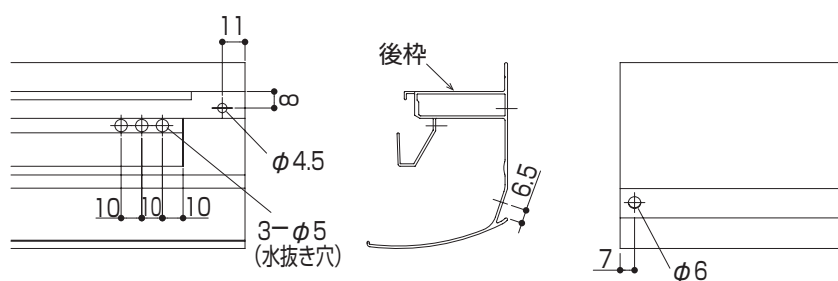
- 必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨漏りの原因になります。
- 部材を切り詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチなどでかしめ直してください。

1. 前枠・後枠・母屋を切り詰めてください。
2. 前枠・母屋の切り詰め側に左右同様の切り欠き加工をしてください。
3. 後枠の切り詰め側に切り欠き、穴加工をしてください。

切り欠き

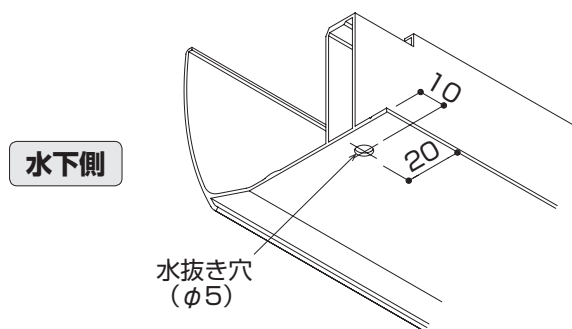


穴加工

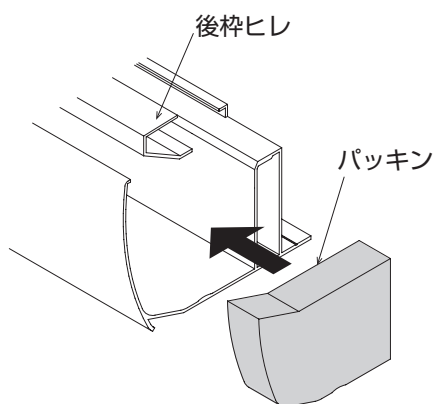


後枠の取り付け

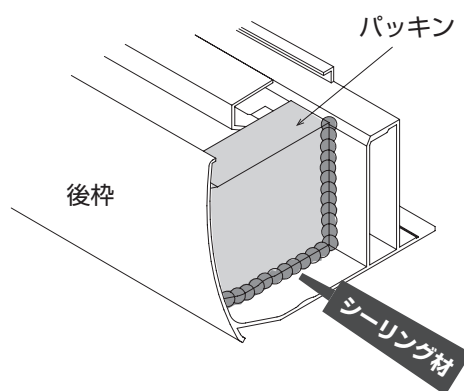
1. 後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。



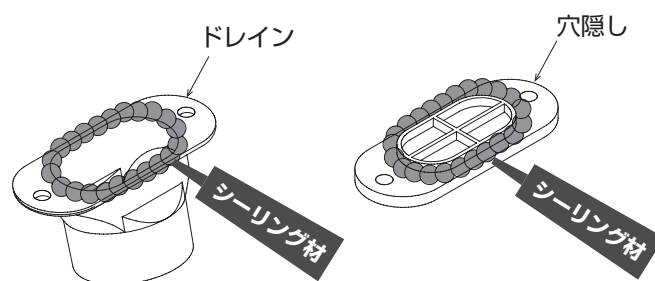
2. 後枠ヒレにパッキンを突きあてて取り付けてください。



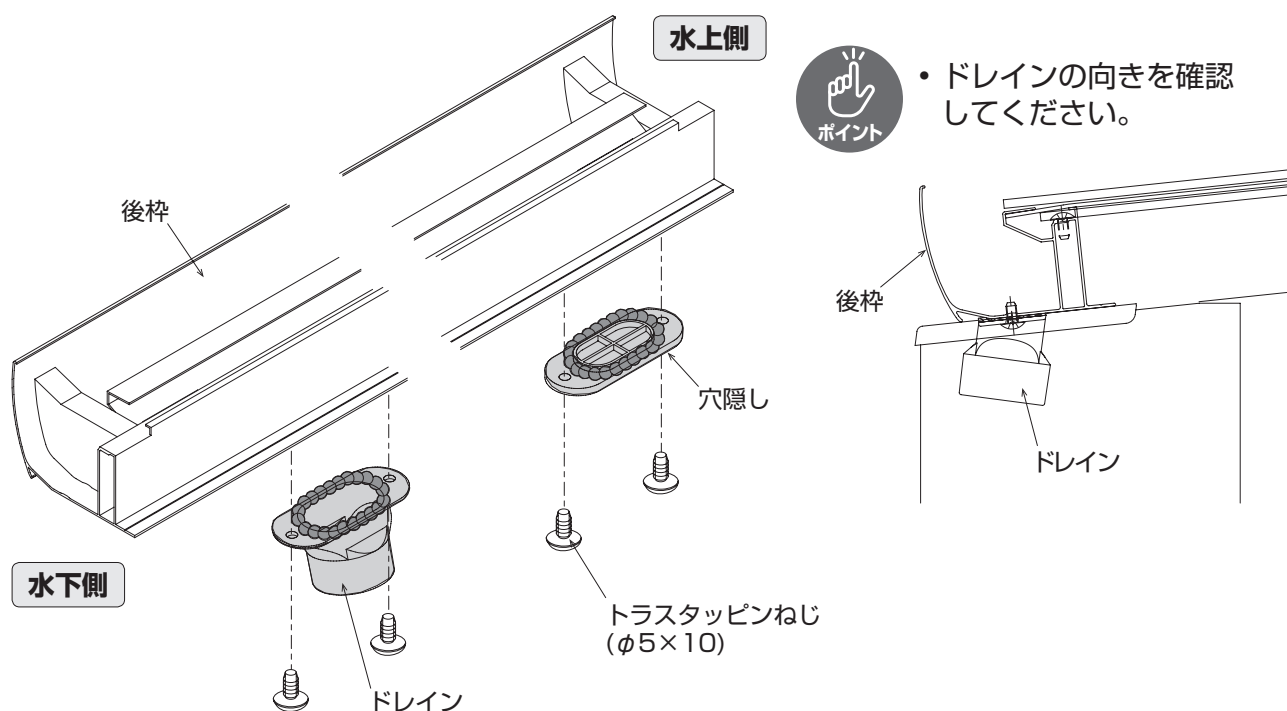
3. パッキンのまわりにシーリングしてください。



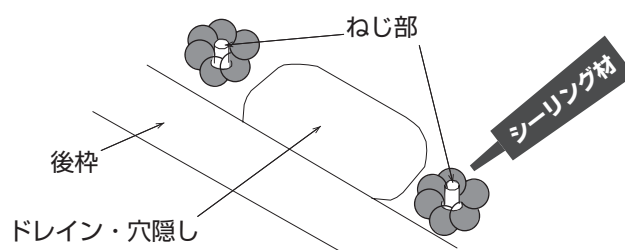
4. ドレイン・穴隠しにシーリングしてください。



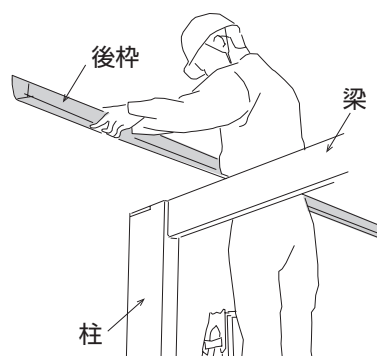
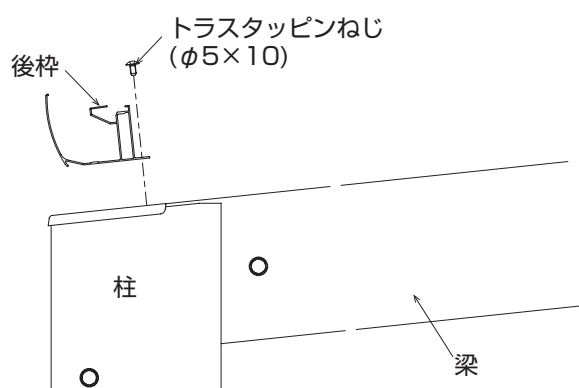
5. 後枠にドレイン・穴隠しを取り付けてください。



6. ねじ部をシーリングしてください。

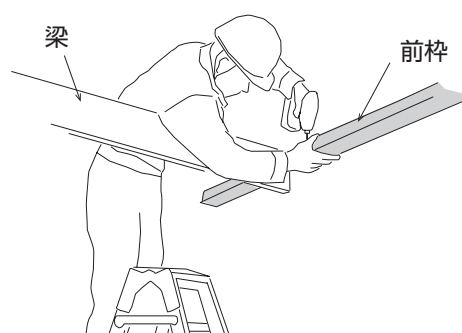
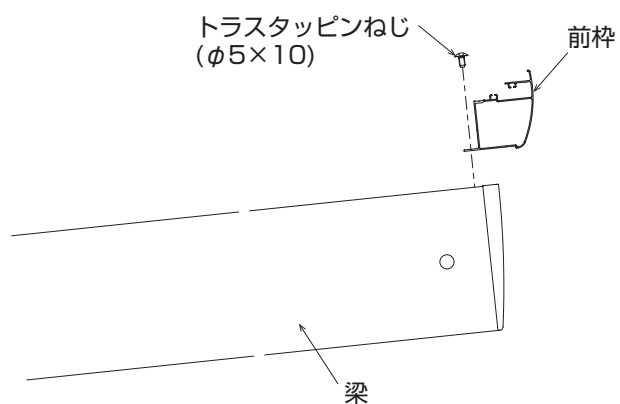


7. 後枠を梁に取り付けてください。



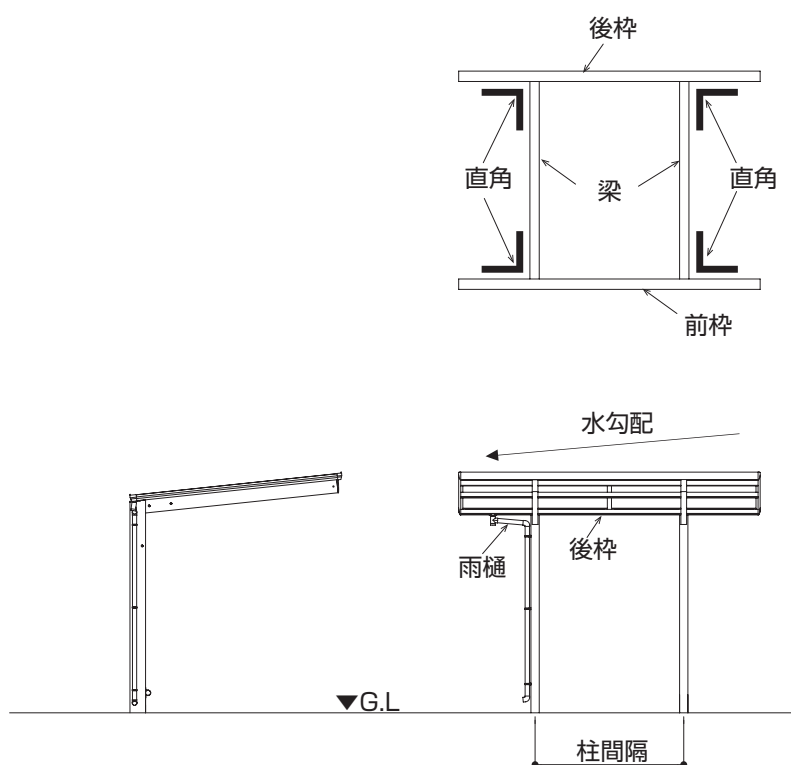
前枠の取り付け

1. 前枠を梁に取り付けてください。



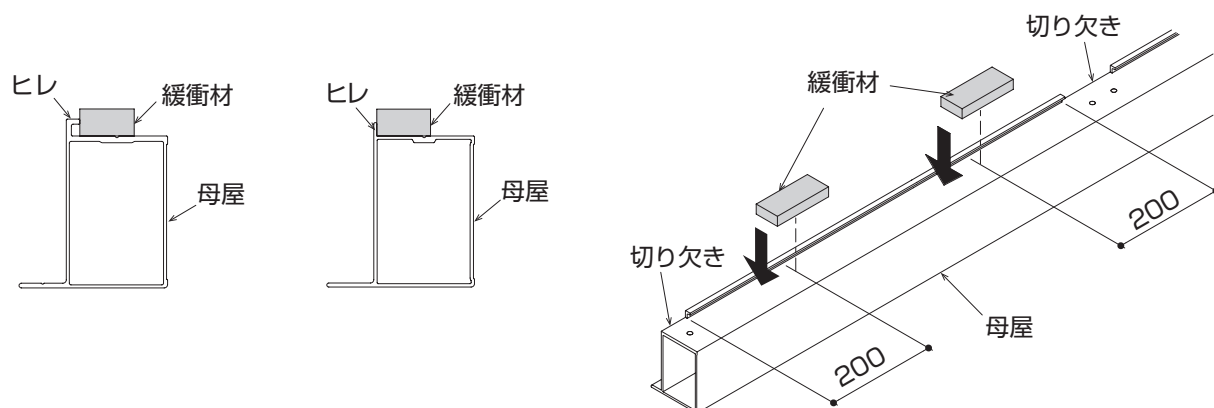
寸法確認・調整

1. 柱の間隔・垂直・対角を確認してください。
2. 梁と後枠、梁と前枠の直角を確認してください。
3. 後枠（奥行方向）の水勾配を確認してください。
（雨樋取り付け側が水下側です）
4. 寸法・角度があわない場合は部材を動かして調整してください。

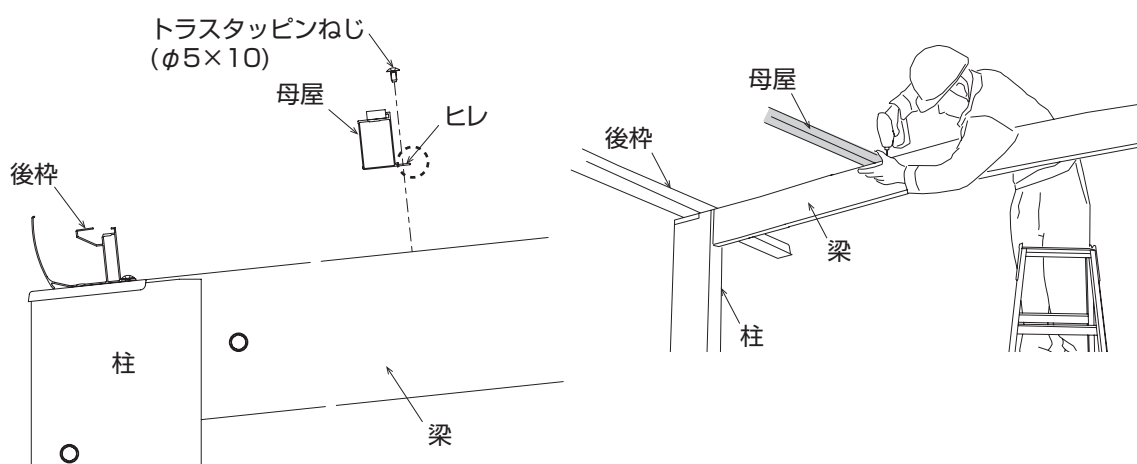


母屋の取り付け

1. 緩衝材を母屋の切り欠き端部より約200mmの位置に、ヒレに突きあてて貼り付けてください。



2. 母屋のヒレを前枠側に向けて、母屋を取り付けてください。

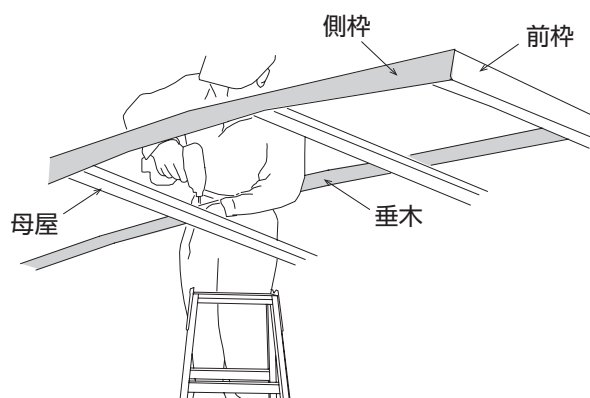
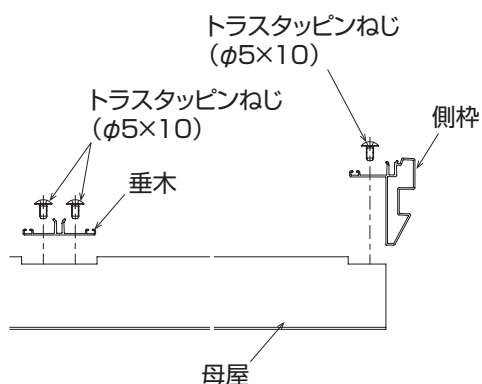


側枠・垂木の取り付け

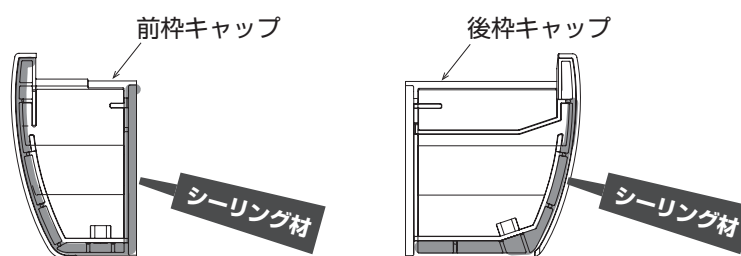
1. 側枠と垂木を取り付けてください。



・ 前枠側→後枠側→母屋部の順番でねじ留めすると穴位置があわせやすくなります。

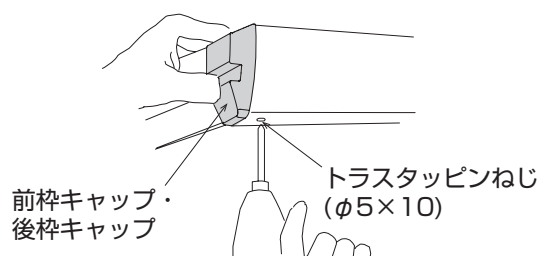


2. 前枠キャップと後枠キャップにシーリングしてください。

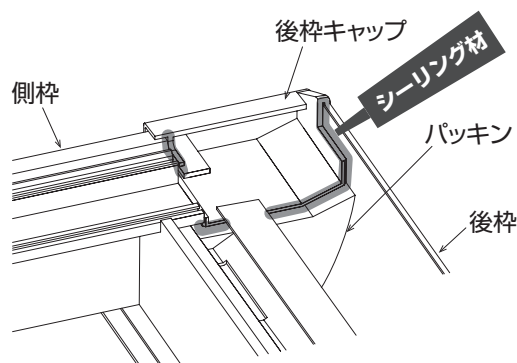


3. 前枠キャップを前枠に取り付けてください。

4. 後枠キャップを後枠に取り付けてください。



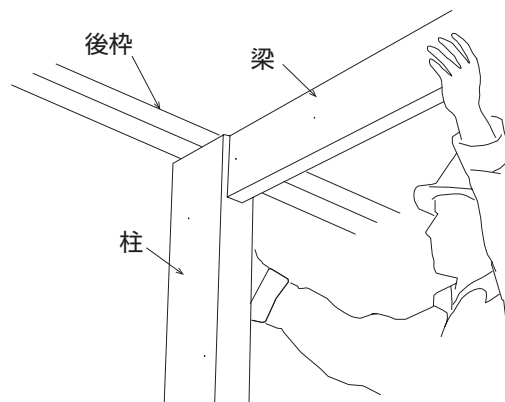
5. 後枠キャップの接合部にシーリングしてください。



(単位：mm)

柱・梁取付ボルトの本締め

1. 寸法を確認してください。「寸法確認・調整（→P.17）参照」
2. 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。



基礎の固定

⚠ 注意

- 基礎コンクリートには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。(目安：4日～7日)
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

お願い

- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。

柱の寸法確認

1. 寸法を確認してください。「寸法確認・調整 (→P.17) 参照」

基礎コンクリートの打ち込み

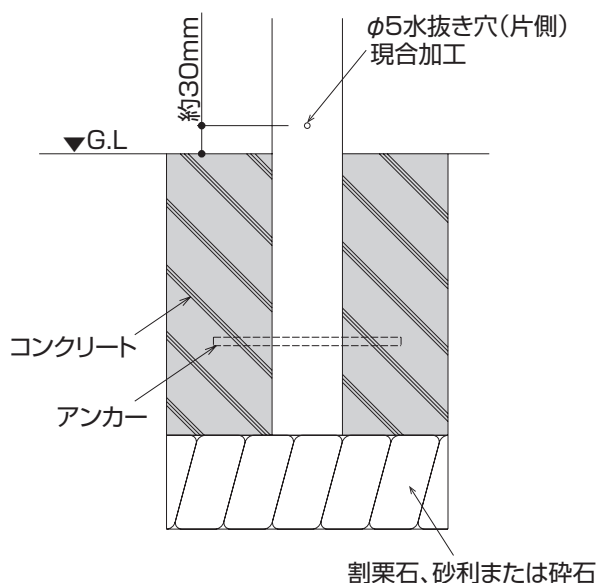
1. 柱に水抜き穴をあけてください。(穴位置は図を参照)
2. 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

⚠ 注意

- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

お願い

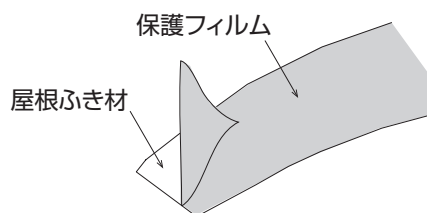
- コンクリートは十分に締め固めてください。ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。



屋根部の施工

屋根ふき材の取り付け

1. 屋根ふき材の保護フィルムをはがしてください。

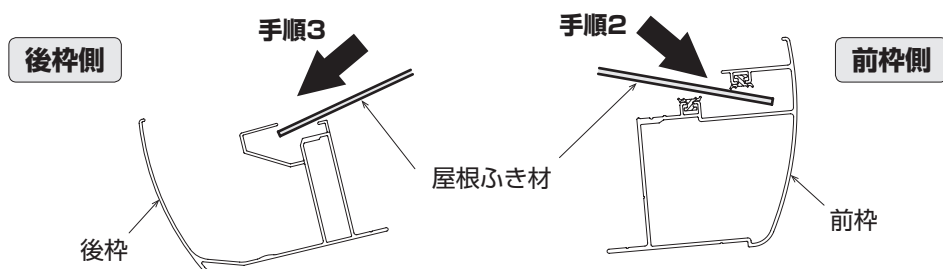


2. 屋根ふき材を前枠側に挿入してください。

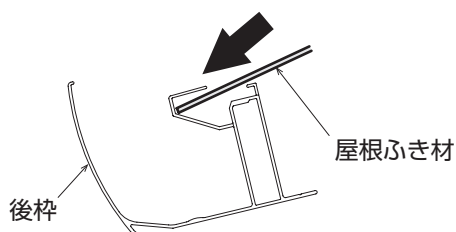
3. 屋根ふき材を後枠側に挿入してください。



- 屋根ふき材がマット調の場合、マット面(凹凸面)を屋根下面にしてください。



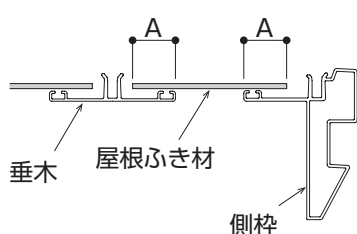
4. 屋根ふき材を後枠の溝にあたるまで押し込んでください。



5. 屋根ふき材の左右の、のみ込みをあわせてください。

⚠ 注意

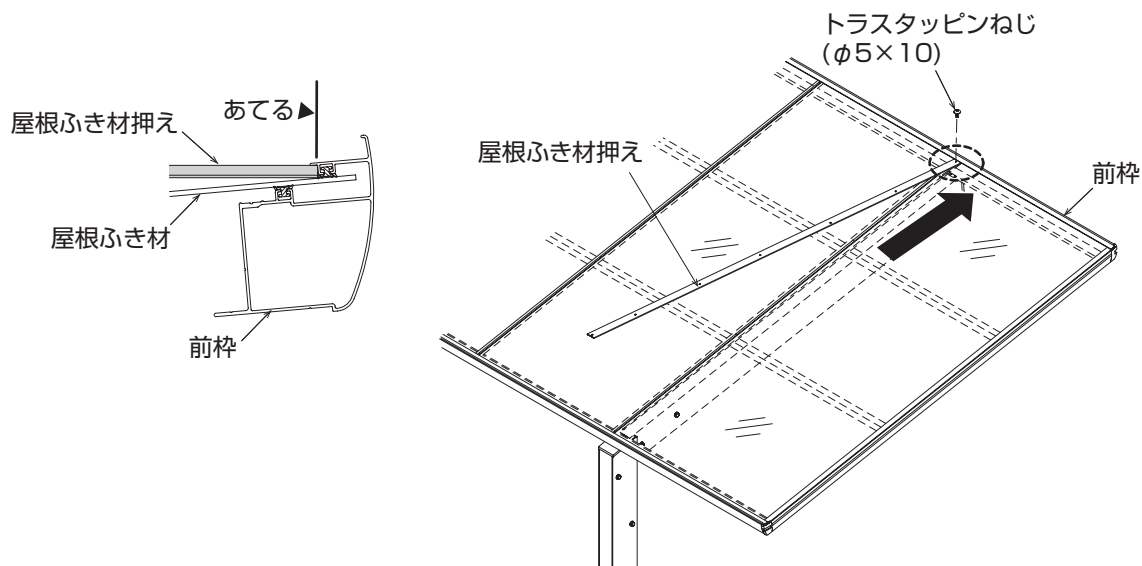
- 屋根ふき材の、のみ込み寸法Aが左右同じになるように調整してください。
耐風圧性能低下により商品が破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



6. 次の屋根ふき材を手順1～5と同様に取り付けてください。

屋根ふき材押えの取り付け

1. 屋根ふき材押えを前枠に挿入し、押しあててください。
2. 前枠側から、屋根ふき材押えを垂木に取り付けてください。

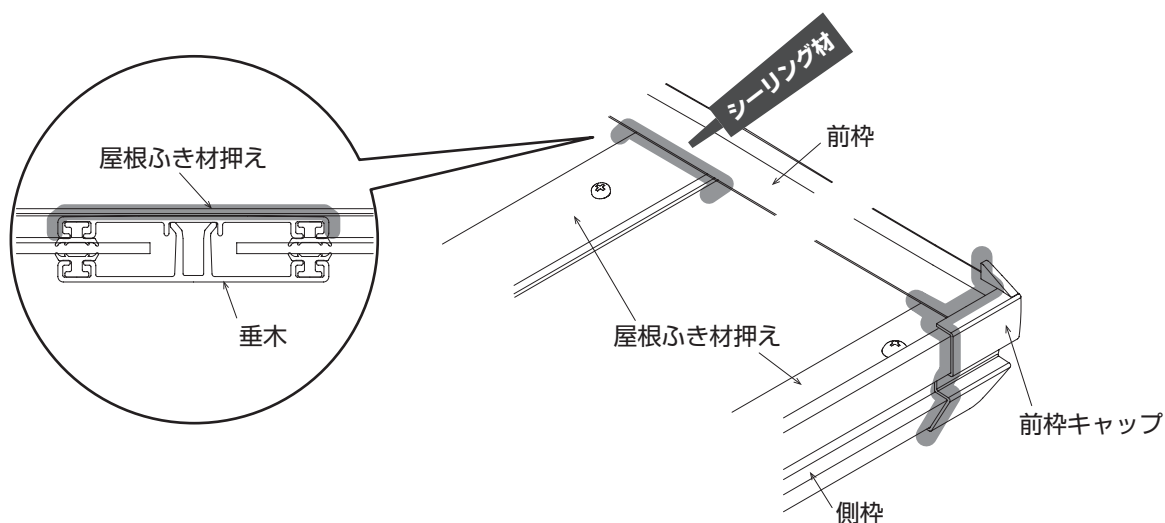


屋根ふき材の取り付けと屋根ふき材押えの取り付けの繰り返し

1. 屋根ふき材の取り付けと屋根ふき材押えの取り付けを繰り返してください。

シーリング

1. 前枠キャップの接合部にシーリングしてください。
2. 前枠と屋根ふき材押えの接合部を「」字型にシーリングしてください。



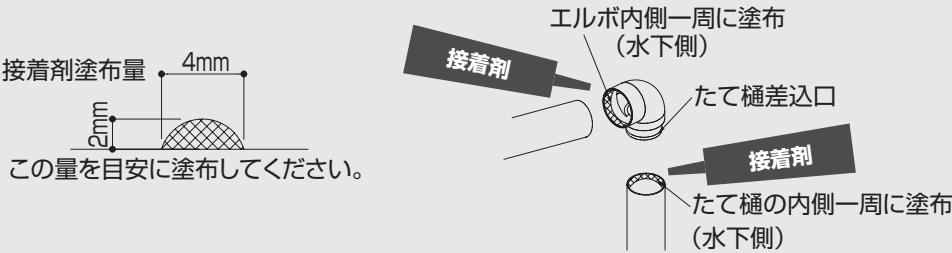
(単位：mm)

雨樋の施工

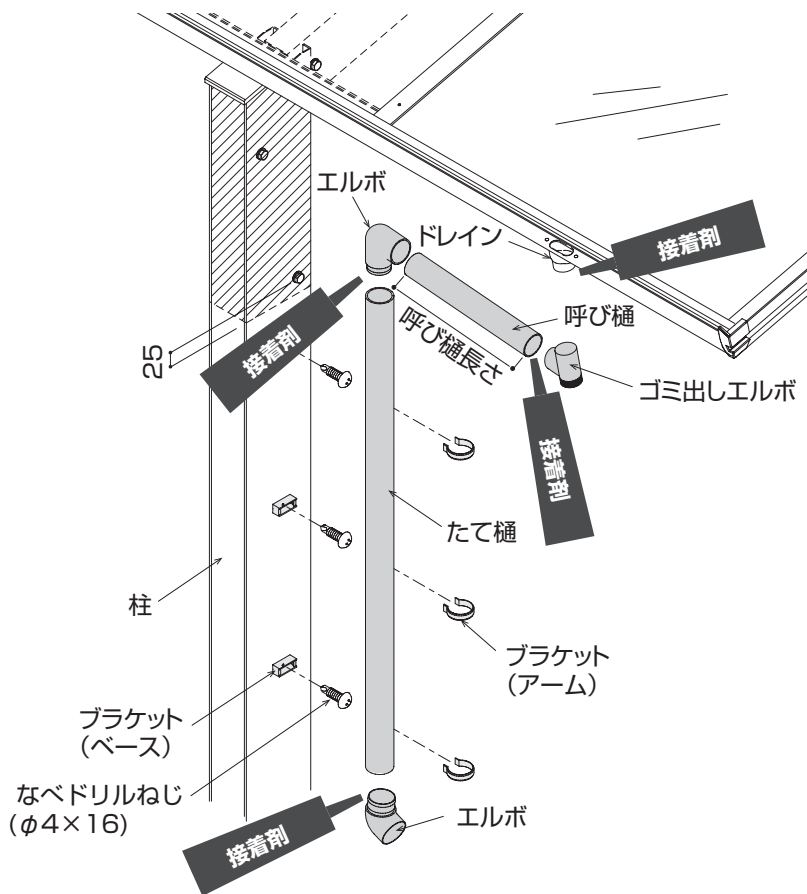
雨樋の取り付け



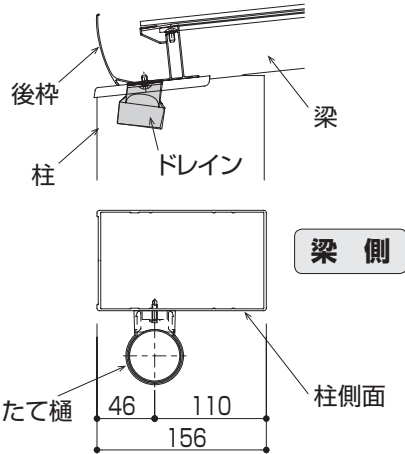
- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。
必ず商品に同梱の接着剤をご使用ください。



1. ブラケット（ベース）を柱に取り付けてください。
斜線部のジョイント材部分に取り付ける場合は、柱に下穴(φ3.5)をあけてください。
2. 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。（表参照）
3. ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
4. 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
5. エルボを呼び樋に挿入してください。
6. たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
7. たて樋をエルボに挿入してください。
8. エルボをたて樋に挿入してください。
9. ブラケット（アーム）をたて樋に挿入してください。
10. たて樋のブラケット（アーム）をブラケット（ベース）に取り付けてください。



【取り付け位置】



■柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	切断寸法
延長 (L14)	326
L50	668
L57	826

(単位：mm)

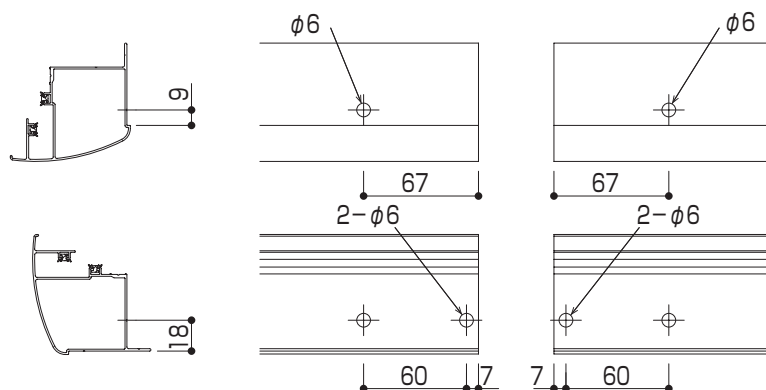
奥行連棟の施工



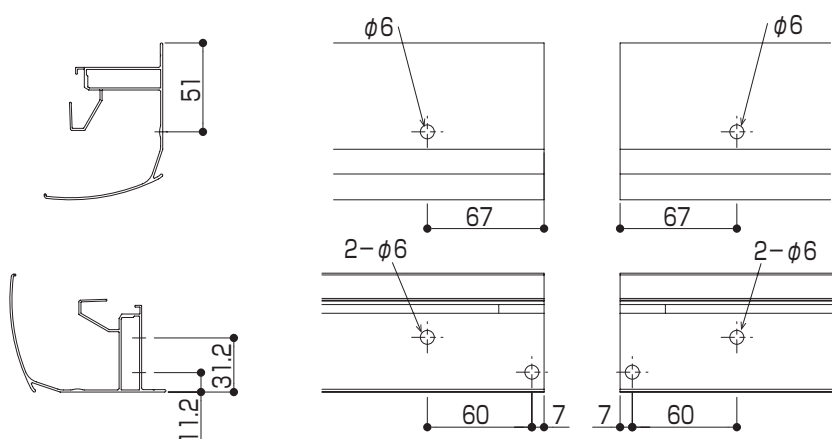
• 本章は、単体の施工と異なる部分のみを説明してます。

前枠、後枠、母屋の加工

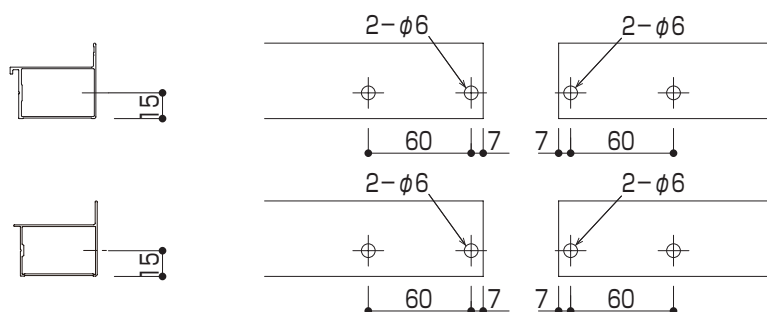
1. 前枠の連結部に穴加工（ $\phi 6$ ）を行ってください。



2. 後枠の連結部に穴加工（ $\phi 6$ ）を行ってください。



3. 母屋の連結部に穴加工（ $\phi 6$ ）を行ってください。

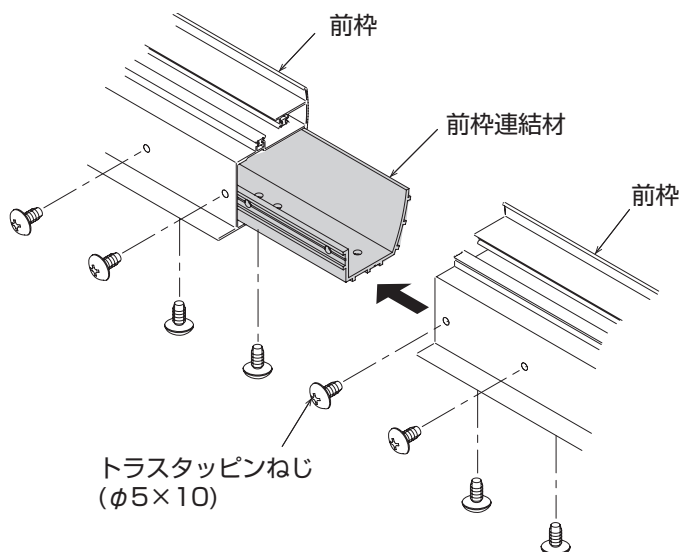


(単位：mm)

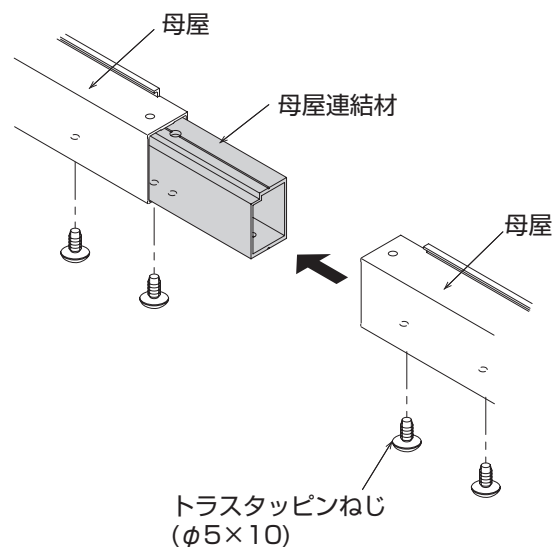
前枠、後枠、母屋の連結

1. 前枠、母屋をそれぞれ連結してください。

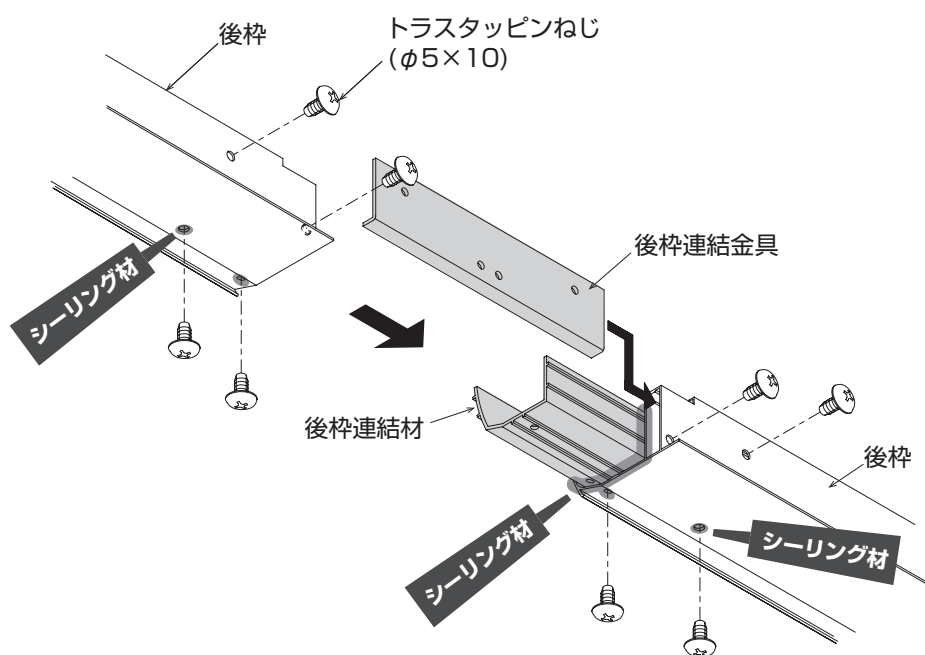
《前枠部》



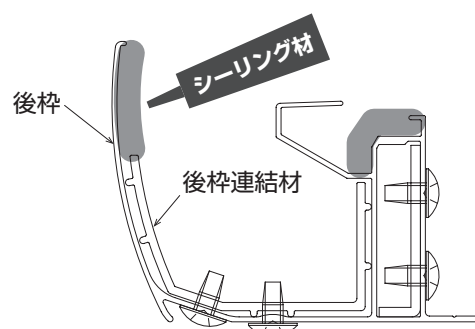
《母屋部》



2. シーリングし、後枠を連結してください。



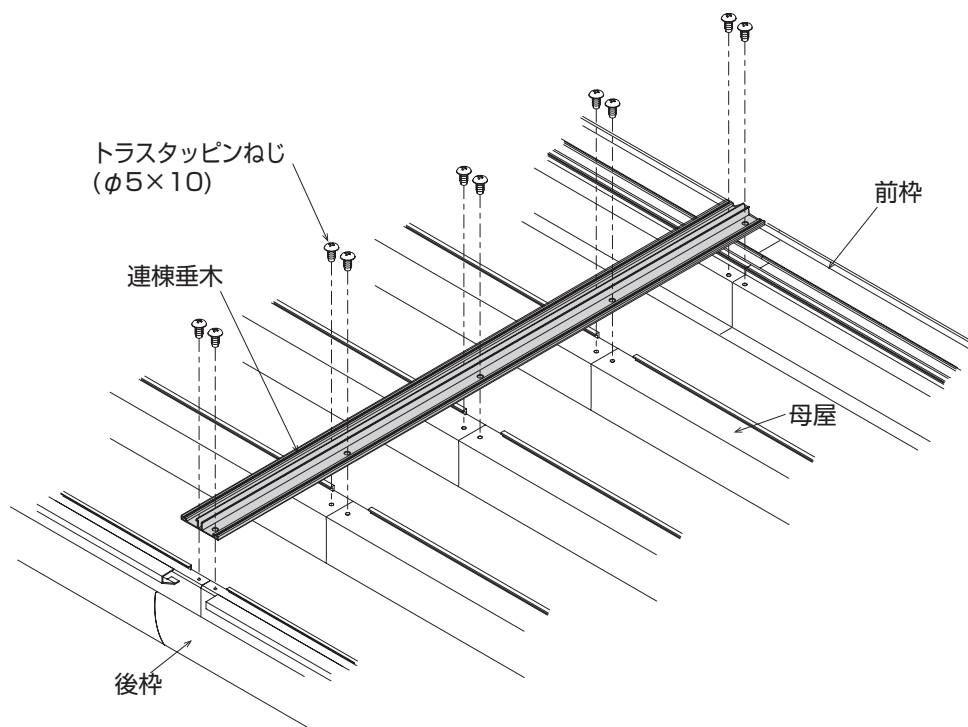
3. 後枠の接合部にシーリングしてください。



(単位：mm)

連棟垂木の取り付け

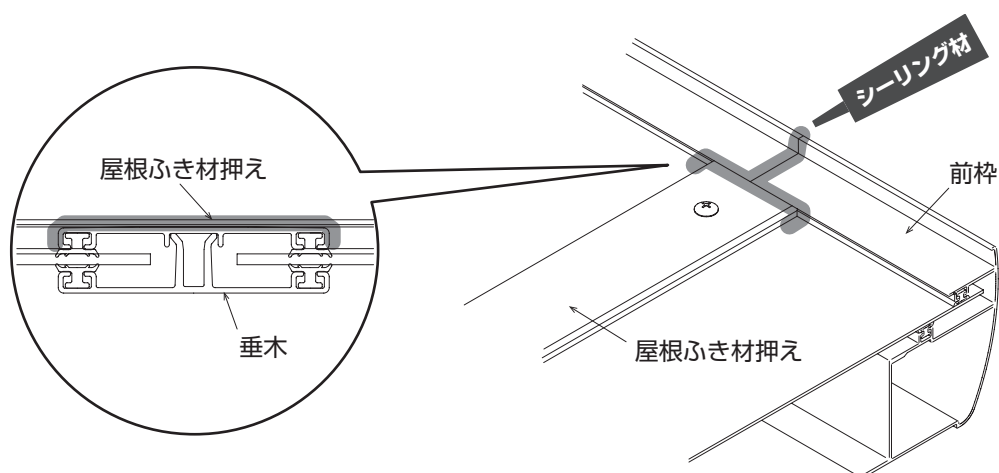
1. 連結部に連結垂木を取り付けてください。



シーリング

1. 前枠の連結部にシーリングしてください。

2. 前枠と屋根ふき材押えの接合部を「」字型にシーリングしてください。



(単位：mm)

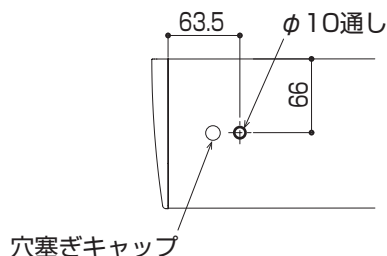
合掌の施工



• 本章は、単体の施工と異なる部分のみを説明してます。

梁連結材の取り付け

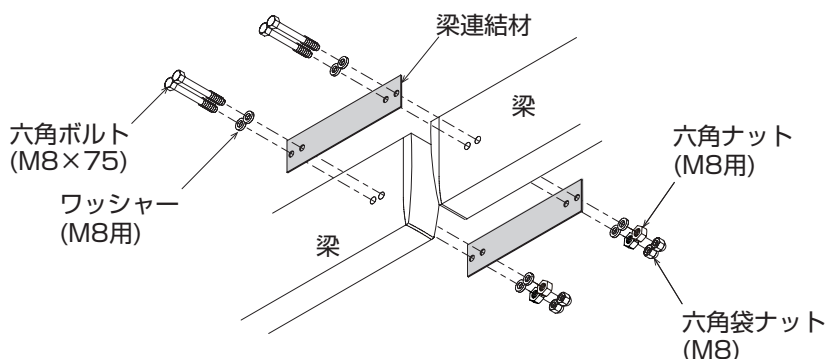
1. 梁の穴塞ぎキャップをはずしてください。
2. 梁の連結部に穴加工（ $\phi 10$ ）を行ってください。



3. 梁連結材を梁の連結部に取り付けてください。

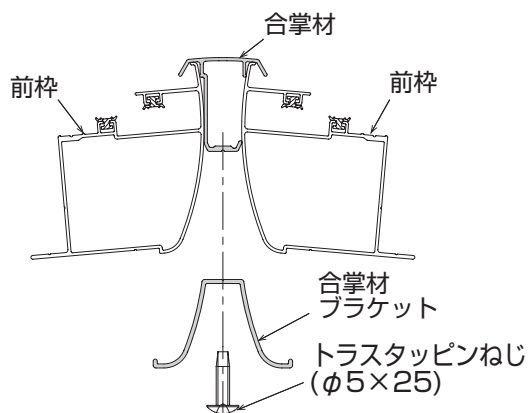


• ボルトを締め込み過ぎないでください。

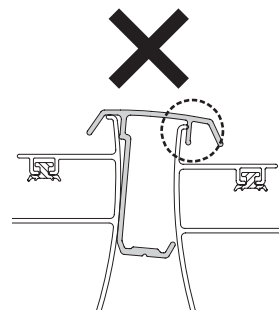
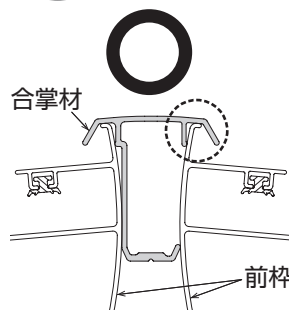


合掌材の取り付け

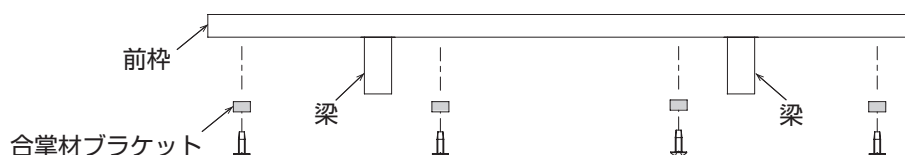
1. 合掌材を前枠の連結部に取り付け、合掌材ブラケットで4箇所を固定してください。



• 合掌材のヒシを前枠の連結部に入れてください。

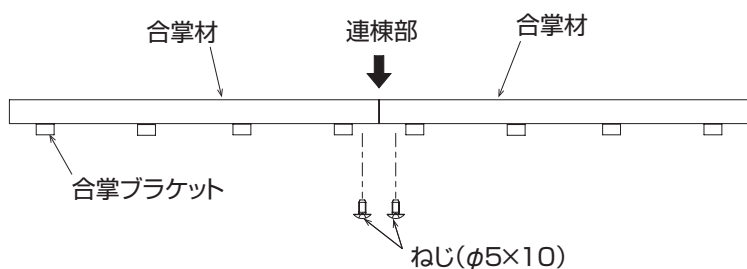


【合掌材ブラケット取り付け位置】



(単位：mm)

2. 奥行連棟の場合、連結部の合掌材キャップ取り付け穴を取付ねじで塞いでください。

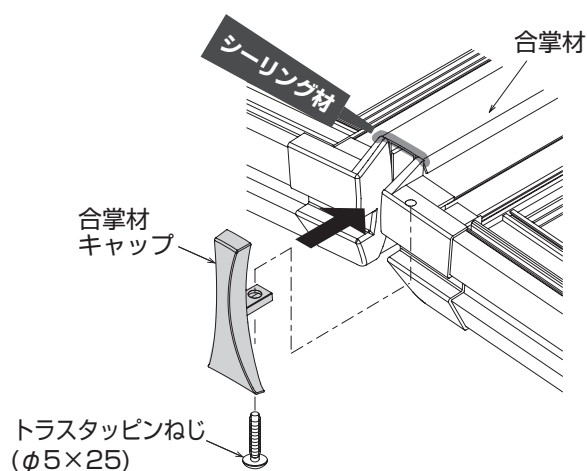


3. 合掌材キャップの上下を確認して、シーリングしてください。



4. 合掌材キャップを合掌材に取り付けてください。

5. 合掌材キャップと合掌材の接合部にシーリングしてください。

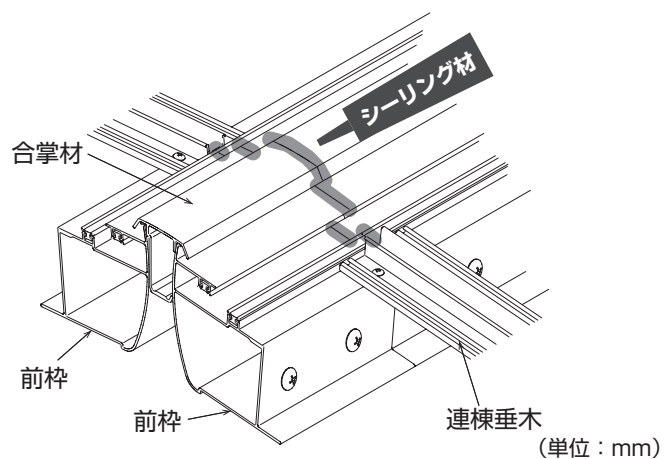
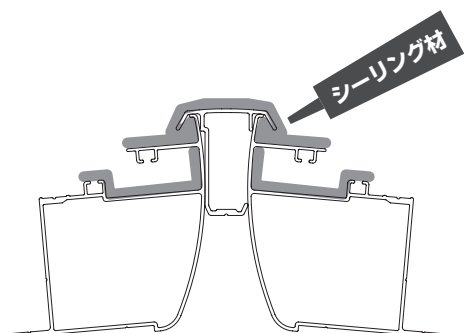


奥行連棟の連結部のシーリング

1. 奥行連棟の場合、合掌材の連結部にシーリングしてください。



- 延長セットの場合、前枠と合掌材の連結部がずれます。



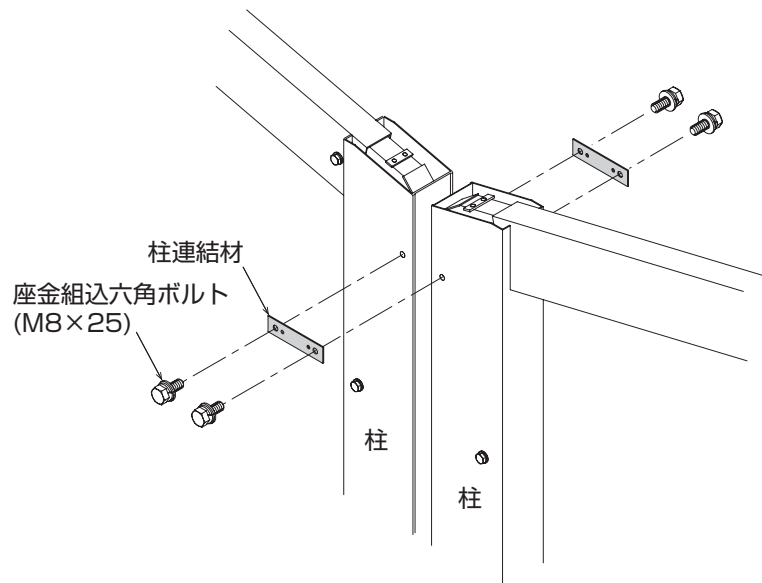
Y 合掌の施工



- 本章は、単体の施工と異なる部分のみを説明してます。
- 柱連結材の取り付けは、基礎の固定前に行ってください。
「基礎の固定（→P.21）参照」

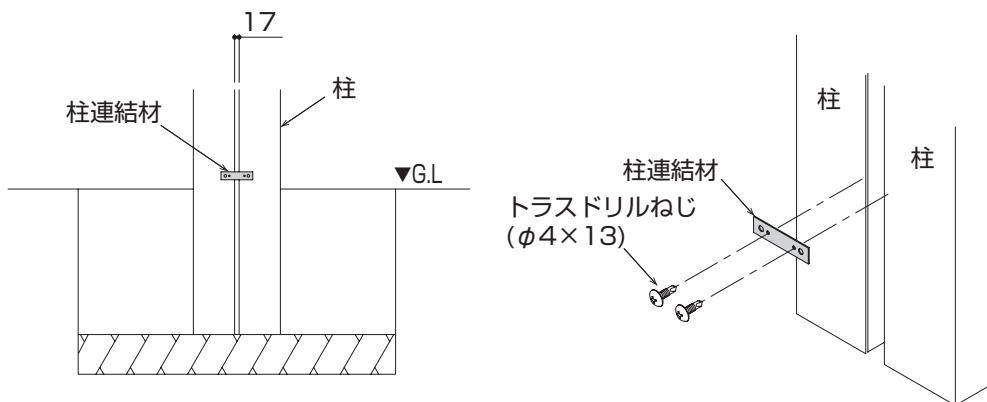
柱連結材の取り付け

1. 柱連結材を連結部の柱上部にジョイント材固定用ボルトで取り付けてください。



2. H28柱（補強材入）の場合、柱間寸法が17mmになるように連結部の柱下部に穴加工（ $\phi 3.5$ ）を行ってください。

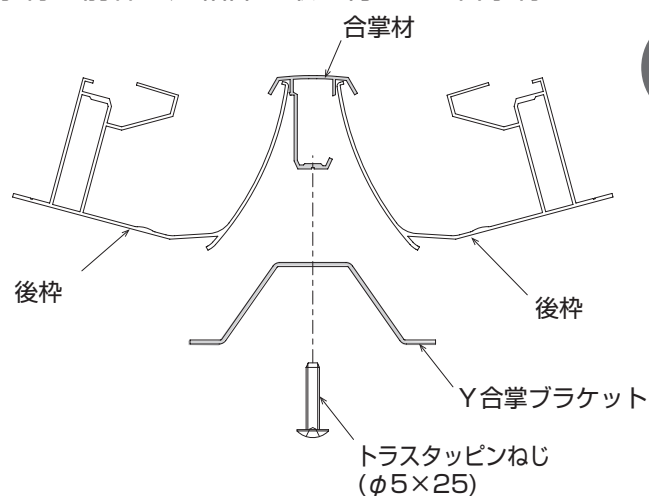
3. 柱連結材を連結部の柱下部に取り付けてください。



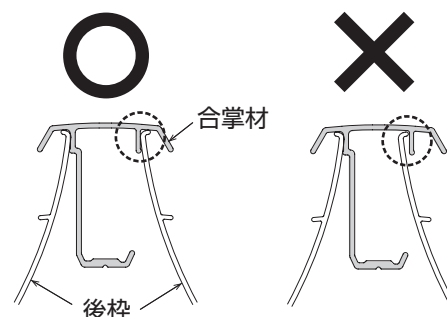
(単位：mm)

合掌材の取り付け

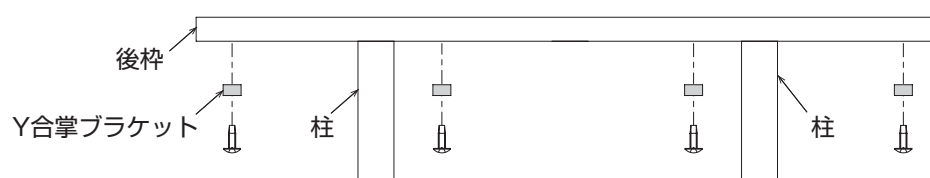
1. 合掌材を前枠の連結部に取り付け、Y合掌材ブラケットで4箇所を固定してください。



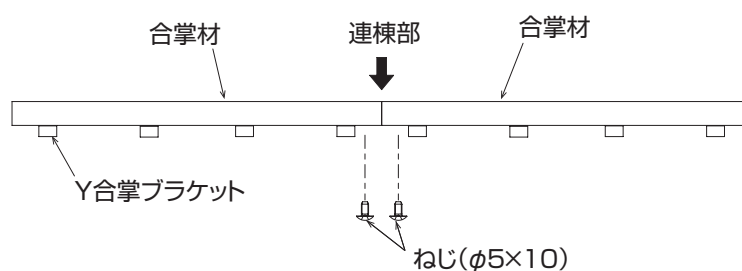
- 合掌材のヒレを前枠の連結部に入れてください。



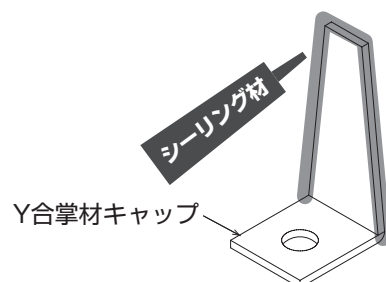
【Y 合掌材ブラケット取り付け位置】



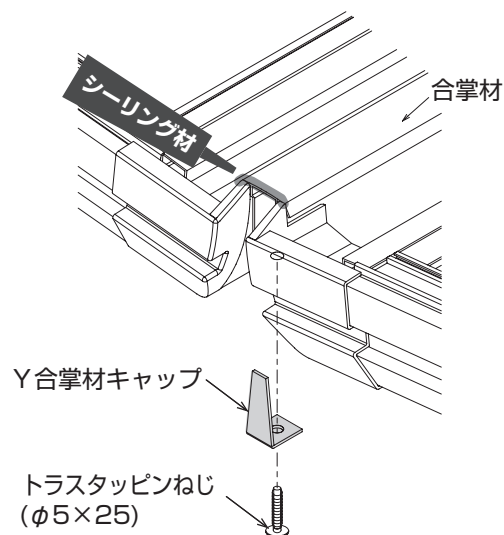
2. 奥行連棟の場合、連結部のY合掌材キャップ取り付け穴を取付ねじで塞いでください。



3. Y合掌材キャップにシーリングしてください。



- 4.Y合掌材キャップを合掌材に取り付けてください。
- 5.Y合掌材キャップと合掌材の接合部にシーリングしてください。

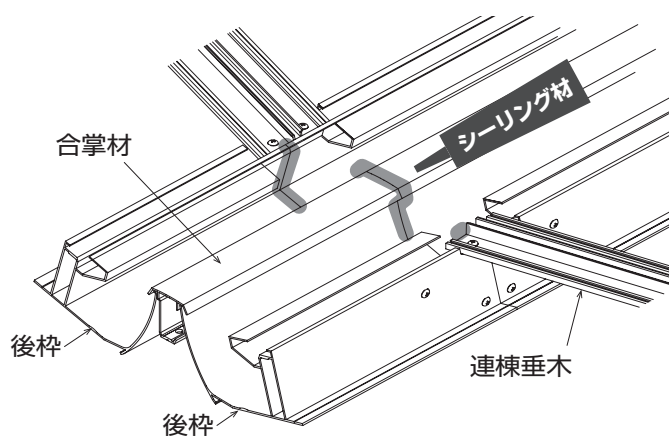
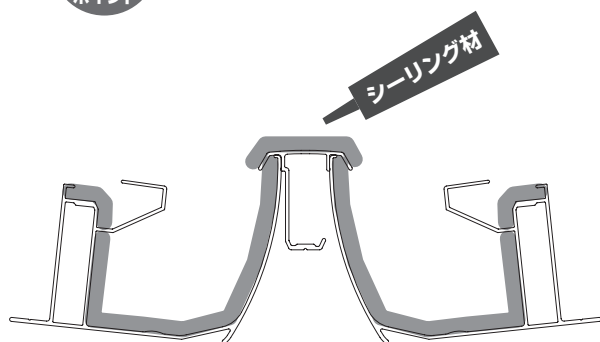


奥行連棟の連結部のシーリング

- 1.奥行連棟の場合、合掌材の連結部にシーリングしてください。



- 延長セットの場合、前枠と合掌材の連結部がずれます。



(単位：mm)

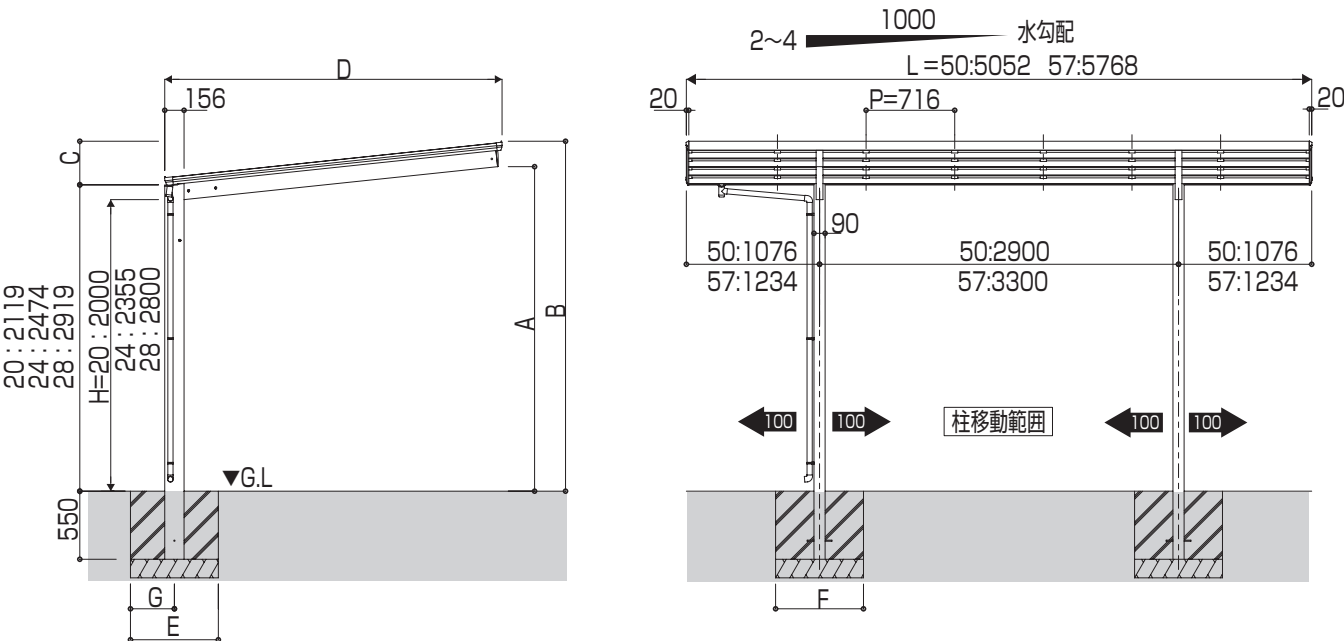
寸法図

寸法図



- 積雪30cmタイプ、側面パネル付（H=2800を除く）の場合も同寸法です。
側面パネル付の場合は、必ず補助柱を取り付けてください。

《基本セット》



呼称	D	H	A	B	C
D24	2423	2000	2235	2440	320
		2355	2590	2795	
		2800	3035	3240	
D27	2725	2000	2266	2472	352
		2355	2621	2827	
		2800	3066	3272	
D30	3027	2000	2298	2503	384
		2355	2653	2858	
		2800	3098	3303	

■独立基礎の場合

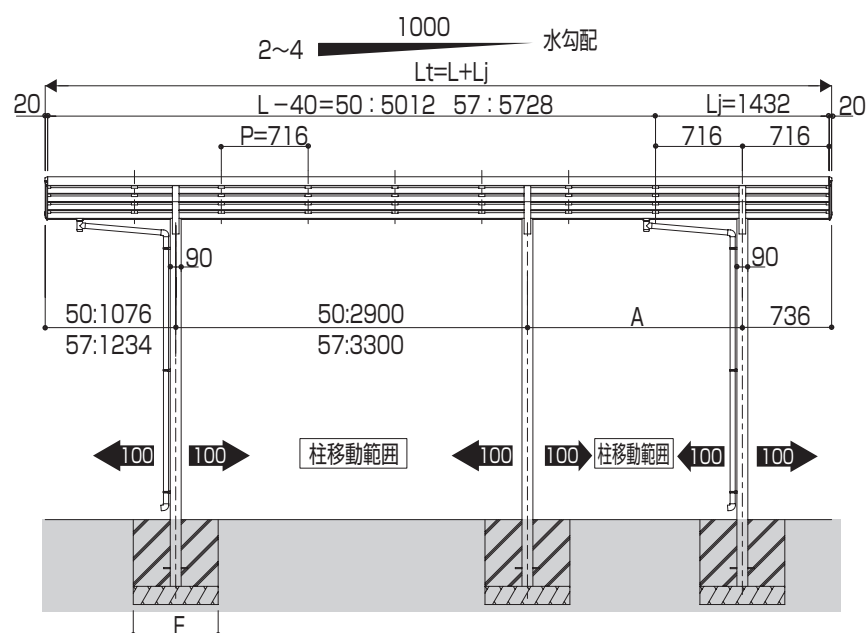
カーポートサイズ	E	F	G
5024・5027・5724 延長セット全サイズ	820	820	300
5030・5727・5730	970	970	300

■土間コンクリートを考慮する場合

カーポートサイズ	E	F	G
5024・5027・5724 延長セット全サイズ	470	470	235
5030・5727・5730	570	570	285

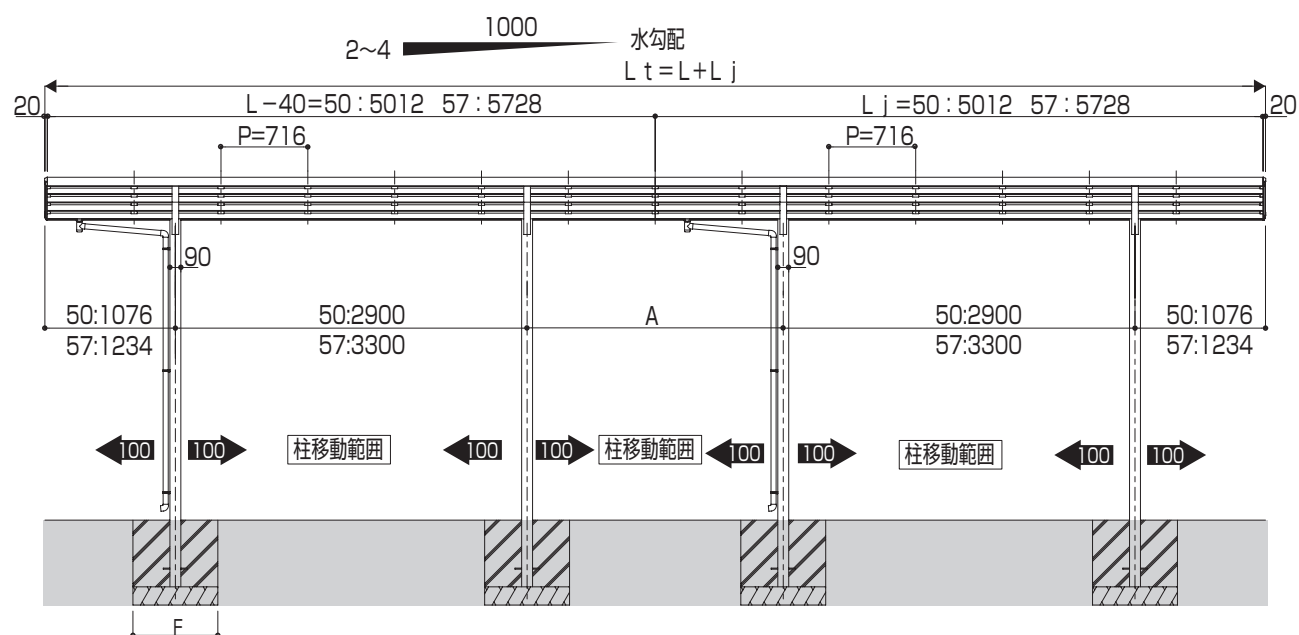
(単位：mm)

《奥行延長セット》



呼称	Lt	A
L50+L14	5484	1772
L57+L14	7200	1930

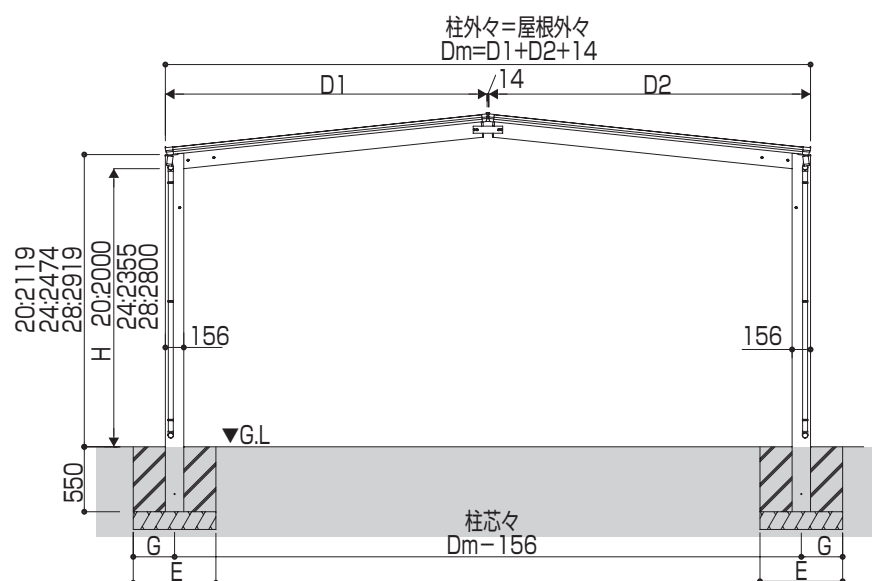
《奥行連棟》



呼称	Lt	A
L50+L50	10064	2112
L50+L57	10780	2270
L57+L57	11496	2428

(単位：mm)

《合掌》

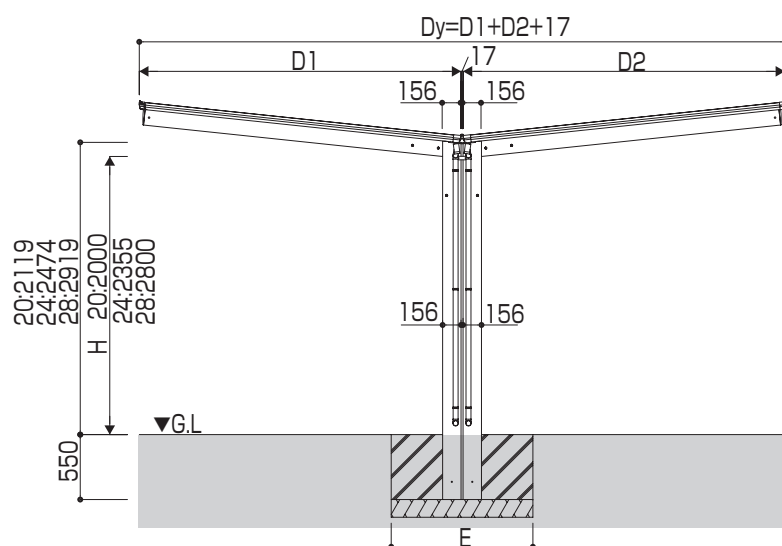


呼称	柱外々 Dm	柱芯々 Dm-156
D24+D24	4860	4704
D24+D27	5162	5006
D27+D27	5464	5308
D27+D30	5766	5610
D30+D30	6068	5912

■幅 (D1・D2) 違い合掌する場合

呼称	方法
D24+D27	D27側の柱を32mm深く埋め込む
D27+D30	D30側の柱を32mm深く埋め込む

《Y合掌》



呼称	D y
D24+D24	4863
D24+D27	5165
D24+D30	5467
D27+D27	
D27+D30	5769
D30+D30	6071

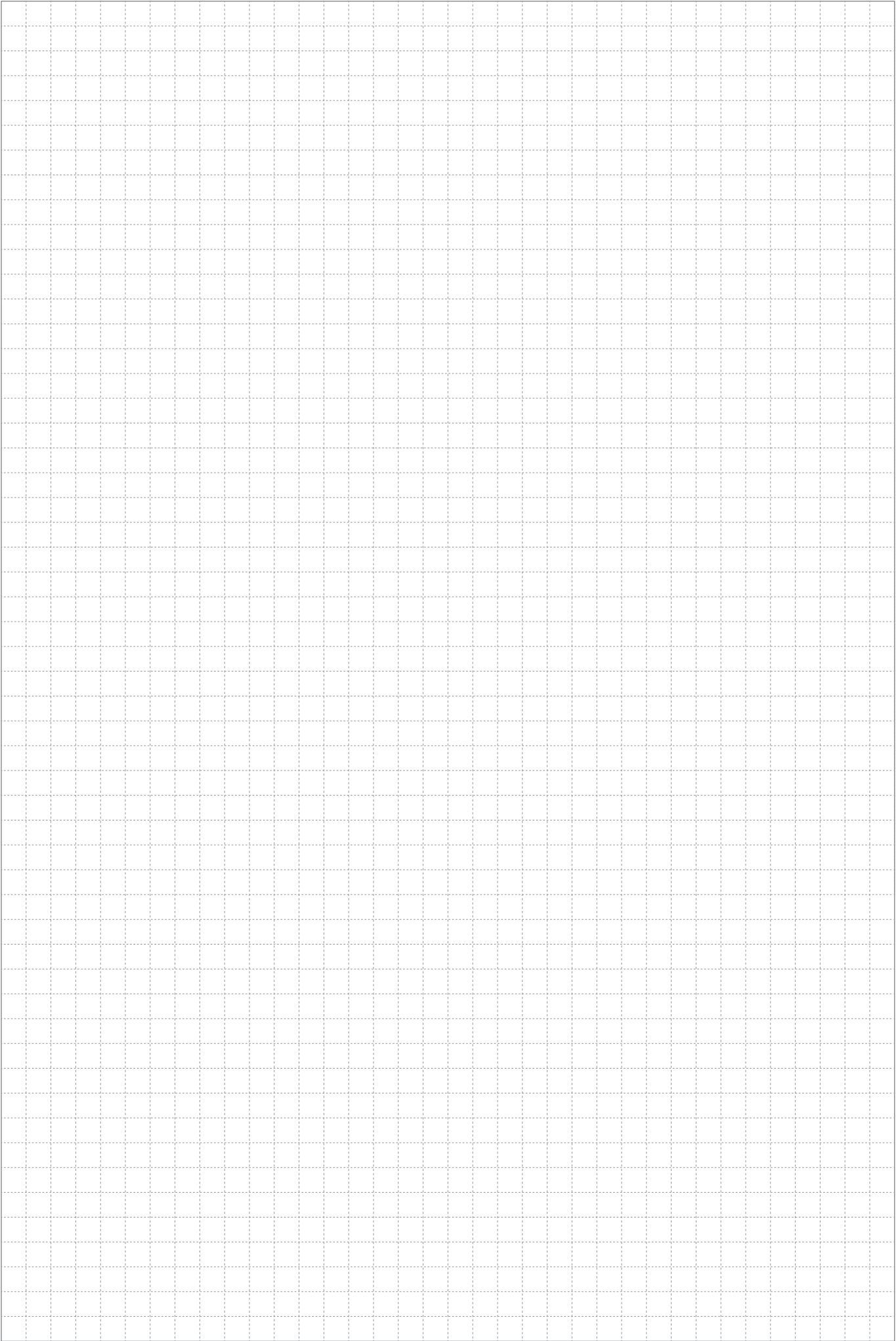
■独立基礎の場合

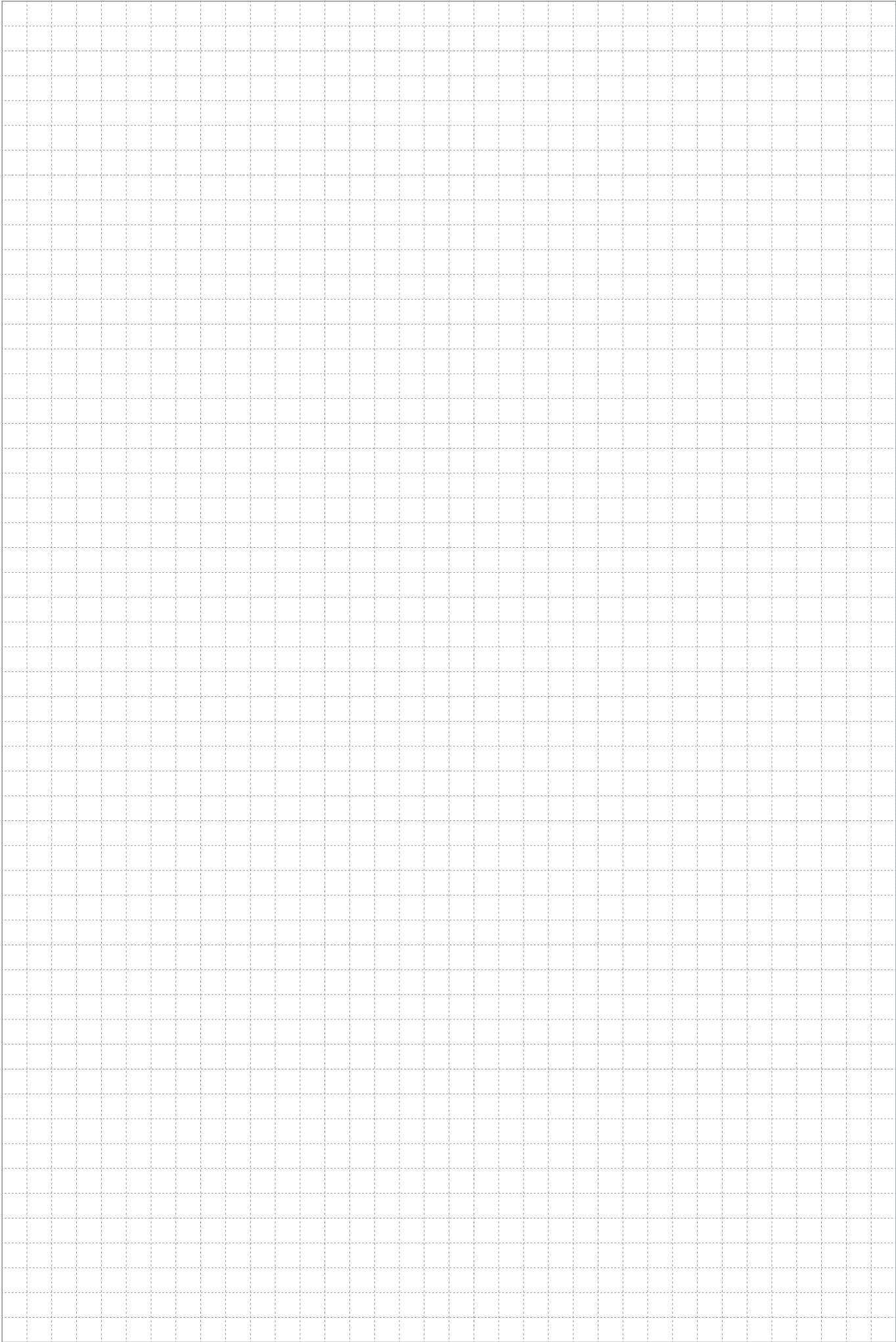
カーポートサイズ	E	F
502424・502427・502727・572424	1300	650
502430・502730・503030・572427 572727・572430・572730・573030	1300	800

■土間コンクリートを考慮する場合

カーポートサイズ	E	F
全サイズ	700	700

(単位：mm)





This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.